

群馬県桐生市において山形県南陽市議会の行政視察に協力

[前橋水源林整備事務所]

山形県南陽市議会から群馬県桐生市議会に桐生市における山火事後の10年間の取組についての行政視察の申し込みがあり、これを受けて、令和6年7月16日に南陽市議会議員等総勢6名による行政視察が桐生市（会場：桐生市議会委員会室）で開催されました。

当事務所には桐生市を通じて被災地復旧の取組に関する講演依頼があり、社会貢献度向上や技術力PRの機会、地域との連携を深める機会となることから、これを快諾し対応しました。

当日は、桐生市議会議長による歓迎の挨拶に続いて南陽市議会議長による挨拶があり、その中で「令和6年5月、南陽市において122haの山火事が発生した。平成26年に桐生市において大規模な山火事が発生し復旧・再生が図られたことを知り、消防活動やその後の防災対策、山火事跡地の復旧・再生方法を学びたいと思い、伺った次第である。」と今回の行政視察に至った経緯について話がありました。

両市議会議長の挨拶が終わると、桐生市消防本部から林野火災発生当時の対応、その後の山火事防止対策、山火事を経験して改善した内容についての講演があり、続いて桐生市農林振興課から被災地全体の概況説明の後、当事務所が講演を行いました。

当事務所からは、センターが復旧に携わった経緯（早期復旧に向け地域と連携して対応したこと）、センターの技術を活用した復旧（新規契約と面的整備）の計画～実行・管理、復旧・再生効果の検証の取組を説明しました。また、植栽を終えた現地の状況や被災後徐々に枯損木が発生した箇所での面的整備の実施状況について、UAVで撮影した動画やスライドを放映交えながら説明を行いました。さらに、事前に山形水源林整備事務所に情報提供していただいた南陽市との分収造林契約地の概況、南陽市農林課との山火事跡地に関する打合せ状況等も合わせて報告しました。

質疑応答では、森林整備関係について、「山火事跡地への植栽に当たっては花粉の少ない苗木を使用したか」、「植栽後土砂の流出等は減少したか」などの質問があり、一つ一つ丁寧に回答しました。

質疑応答後、南陽市議会議長より感想が述べられ、「消防活動や防災対策の改善点などが参考になった。また、南陽市の山火事跡地については、農林水産副大臣と林野庁担当室長に現地を視察していただいたが、今回の講演も参考に国、県、市と共に復旧・再生方策を検討していきたい。また、山火事跡地の復旧・再生を図るためだけでなく、民有林の森林整備を進める上でも、水源林造成事業や山形水源林整備事務所について知ることができてよかった。」旨の話がありました。

最後に、南陽市議会総務常任委員長より「多忙な中、消火活動や森林整備に携わる方々の講演を直接聴く機会を設けていただき感謝申し上げます。」との謝辞があり、解散となりました。

当事務所では、社会貢献度向上や技術力 PR の機会、地域との連携を深める機会となる、このような講演依頼等を積極的に受け入れていく考えです。



●山形県南陽市市議会（総勢6名）



●桐生市議会議長の挨拶



●南陽市議会議長の挨拶



●桐生市消防本部による消火活動等の説明



●センターによる復旧事業の説明



●センターによる復旧地の説明（UAV）



●行政視察終了後の記念撮影

（執筆：久保田 撮影：石渡）